

授業 科目名	【G】	社会科・公民科指導法Ⅰ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
	【H】	社会科・公民科指導法入門			【H】2		【H】2	
	【I】	社会科・公民科指導法入門			【I】2		【I】2	
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)(高一種免公民) 【H】 教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)(高一種免公民) 【I】 教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)(高一種免公民)						
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)							
サブ タイトル	「社会科を教える」スタート地点に立って			担当者	後藤 雅彦			
授業概要	【概要】	【実務(中学校教諭)経験を活かした授業】 中学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。 もし、20分ないし一 定時間を与えられた場合、どんな「教え方」ができるのか。社会科という科目の歴史や特性を知った上で、この社会科授業者としての疑似体験を、いきなり試みる。これまでの受けて来た「教え方」でいいのか、自分だったらどんな「教え方」をしたいのか。この試行錯誤を入門期に抱くことが、実はかなり意味がある。教科社会科に対する自然な、素朴な学び合いから、この教科を職業として扱う自らの進路選択に目を向けていく。						
	【到達目標】	○中学校の公民的分野の学習内容を自分なりに教材化し、「教え方」とは何か考え始めることができる。 ○社会科授業の「つくり手」をめざす時、自らに何が求められるのか、進路選択の起点とすることができる。						
履修条件	2024年度以降入学者以降は「社会科・公民科指導法入門」。2023年度以前入学者は「社会科・公民科指導法Ⅰ」の名称となる。 ※注意 「教育原理」「教職論」を履修済み、もしくは本年度に履修予定の者でかつ、この科目は中学校社会科教員、あるいは高校公民科教員、あるいはその両方の教員免許を取得希望の者が、一番最初に、その入門科目として履修する。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【○】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との 関連性	「社会科指導法Ⅰ(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅲ)」(2年後期) 「社会科指導法Ⅱ(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅱ)」(3年前期) 「公民科指導法(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅳ)」(3年後期)							
教科書	『新しい社会 公民 [令和3年度]』東京書籍(中学校社会科用 文部科学省検定済教科書) ※中古本で可							
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』、文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編』							
評価方法	授業への参加態度(30%)、課題(模擬授業含む)への取組内容(30%)、資料。振り返りシート提出(40%)を総合して評価する。							
フィードバック 方法	毎時間の「復習シート」、課題取組(模擬授業含む)へのコメント							
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。							

授 業 科目名	【G】	社会科・公民科指導法Ⅰ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	社会科・公民科指導法入門			【H】2		【H】2
	【I】	社会科・公民科指導法入門			【I】2		【I】2
授業回数	授業内容						
1	イントロダクション①－社会科とはどんな教科だったのか－ 予習： 90分を目途に、「社会科とはどんな教科」だったのかを振り返る。 復習： 90分を目途に、「どんな社会科」授業をやりたいのかを練る。						
2	イントロダクション②－やりたい社会科授業とは－ 予習： 90分を目途に、やりたい授業像の発表準備をする。 復習： 90分を目途に、「どんな社会科」授業をやりたいのかを整理する						
3	社会科の歴史①－社会科の誕生－ 予習： 90分を目途に、社会科創設の歴史を調べる。 復習： 90分を目途に、社会科の歴史を整理する。						
4	社会科の歴史②－学習指導要領の変遷－ 予習： 90分を目途に、戦後史の社会背景を調べる。 復習： 90分を目途に、今日の社会科像を整理する。						
5	社会科の内容構成－小・中・高校の学習内容を知る－ 予習： 90分を目途に、小学校で受けた社会科の一つを紹介準備する。 復習： 90分を目途に、教科社会科全体の内容整理をする。						
6	社会科の学習内容－模擬授業の準備① 単元の選定－ 予習： 90分を目途に、学習内容の全体を把握する。 復習： 90分を目途に、分担した学習内容を押さえる。						
7	社会科の学習内容－模擬授業の準備② 学習内容の研究－ 予習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。 復習： 90分を目途に、分担した学習内容の教材研究をする。						
8	社会科の学習内容－模擬授業の準備③ 学習内容の整理－ 予習： 90分を目途に、分担した学習内容を整理する。 復習： 90分を目途に、分担した学習内容を整理する。						
9	社会科の学習内容－模擬授業の準備④ 板書計画の完成－ 予習： 90分を目途に、分担した学習内容の流れを考える。 復習： 90分を目途に、分担した学習内容の流れを完成させる。						
10	社会科の時間－「現代社会と私たち」－ 予習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。 復習： 90分を目途に、学習内容の資料と振り返りシートを完成させる。						
11	社会科の時間－「個人の尊重と日本国憲法」－ 予習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。 復習： 90分を目途に、学習内容の資料と振り返りシートを完成させる。						
12	社会科の時間－「現代の民主政治と社会」－ 予習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。 復習： 90分を目途に、学習内容の資料と振り返りシートを完成させる。						
13	社会科の時間－「私たちの暮らしと経済」－ 予習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。 復習： 90分を目途に、学習内容の資料と振り返りシートを完成させる。						
14	社会科の時間－「地球社会と私たち」－ 予習： 90分を目途に、分担した学習内容の模擬授業を準備をする。 復習： 90分を目途に、学習内容の資料と振り返りシートを完成させる。						
15	まとめ－「社会科を教える」スタート地点に立って－ 予習： 90分を目途に、授業者として振り返る。 復習： 90分を目途に、社会科を仕事として扱う意味を再考する。						
その他	全体履修人数の多少によって、必要に応じ内容修正をする場合がある。また、常にポートフォリオ形式で授業資料等を分類整理する。						